



はじめに

本書では、Cisco Prime Assurance Manager の管理方法および使用方法について説明します。

対象読者

このマニュアルは、ネットワークを設定、モニタ、および保守する管理者とネットワーク障害をトラブルシューティングする管理者を対象としています。

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

パート	タイトル	説明
1	使用開始の手順	説明内容： <ul style="list-style-type: none">• Prime AM の主な機能。• Prime AM ユーザ インターフェイスのさまざまな要素。• Prime AM のスタートアップ。
2	設定とモニタリングでのテンプレートの使用	設定テンプレートおよびモニタリング テンプレートの使用方法について説明します。
3	ネットワークの運用	次の操作を行う方法について説明します。 <ul style="list-style-type: none">• デバイス構成インベントリを維持および更新します。• ブランチを導入します。• アラームに応答します。• デバイス構成を使用してネットワークをトラブルシューティングします。

パート	タイトル	説明
4	ネットワーク サービスの保証	Prime AM を使用してネットワーク サービスを管理およびトラブルシューティングする方法について説明します。
5	管理	Prime AM を保守し、ユーザ アクセスを制御する方法について説明します。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	用途
太字フォント	コマンド、キーワード、ユーザ入力テキストは 太字 で表示しています。
イタリック体	ドキュメント名、新規用語または強調する用語、および値を指定するための引数は、 <i>イタリック体</i> フォントで示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x y z }	どれか 1 つを選択できる必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリング見なされます。
courier フォント	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、 <i>courier</i> フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注)

「注釈」です。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。



注意

「要注意」の意味です。この場合、操作を実行すると、機器の損傷またはデータ損失が発生する可能性があります。



ワンポイントアドバイス

時間を節約する方法です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

**警告**

読者に対する警告を意味します。この場合、操作を実行すると、人身事故につながる可能性があります。

関連資料

Cisco Prime Assurance Manager の一連のマニュアルすべてに、次の URL でアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/partner/products/ps12349/tsd_products_support_series_home.html

**(注)**

元のドキュメントの発行後に、ドキュメントを更新することがあります。マニュアルのアップデートについては、Cisco.com で確認してください。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

